

(社) 土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会

平成 22 年度 第 1 回小委員会 議事録

日時：平成 22 年 11 月 4 日（木） 14:00～17:00

場所：土木学会 D 会議室

出席者：末武義崇，岩井茂雄，大谷徹，清野聡子，二宮正，根岸均，藤原浩巳，田中岳，持木智司，竹山智英，篠原雅和，幣守健，峯岸邦夫，木村清和，依田照彦，宇井正之

(敬称略，下線欠席（予定）)

オブザーバ出席 木村國夫、加藤浩志

配布資料：

- 資料 1－1 平成 22 年度 第 1 回小委員会議事次第（本紙）
- 資料 1－2 前回小委員会議事録（案）（平成 21 年度第 3 回小委員会：H22.3.15 開催）
- 資料 1－3 平成 22 年度第 1 回親委員会議事メモ（H22.9.28 開催）
- 資料 1－4 平成 22 年度活動計画（案）（平成 22 年度第 1 回親委員会配布資料：H22.9.28 開催）
- 資料 1－5 H22 年度 JSCE2010 自己評価（中間）（親委員会提出資料：H22.10 月末時点）
- 資料 1－6 学会活動の 4 つの視点からの評価・PR 等（親委員会提出資料：H22.10 月末時点）

議 題

<小委員会>

1. 小委員会委員長挨拶
2. 前回議事録確認
 - ・前回の議事録について確認、了承された。
3. 第 1 回親委員会報告（H22.9.28）
 - ・去る 9/28 に行われた第 1 回教育企画・人材育成委員会について資料 1-3 に沿って末武委員長より報告があった。
 - ・本年度の当小委員会の予算は 18 万円である旨、報告があった。
4. 今年度の活動について
 - 【予算および小委員会の開催について】
 - ・上記のように年間 18 万円の予算で、当小委員会は本年度 2 回開催する旨を末武委員長より提案された。
 - 【支援活動状況について】
 - ・田中委員より 10 月に北海道音更町立鈴蘭小学校で行われた小学 4 年国語を対象にした「材料・形と強さ～橋（構造）～」の出前授業について報告が行われた。国語の授業への支援活動であるが、「調べる・考える・発表する」が学習目標であり、この出前授業はそのきっかけとして活用できることが説明された。
 - ・今後総合学習の時間が削減されるため、支援活動を各教科へ取り込む努力が必要である旨が確認された。
 - 【教材開発】
 - ・末武委員長より今後 WG で検討・開発を行うことが提案され、WG のメンバーは委員長が原案を作成し提示することで了承された。
 - ・教材提供には委員会の HP を活用し、既に開発されている教材を広く提供することが了承された。”

5. 支援活動のネットワーク化について

- ・末武委員長より連絡協議会を立ち上げることは困難である旨、報告された。その代替案として、草の根的に活動されている方々のデータを集約し事務局的に活動する、またはNPO法人化して活動する原案を作成するという2案が提示された。
- ・前者の事務局的な活動については、全国の出前授業をデータベース化してHPに情報として公開する。これを行うために全国で活動を行っておられる方々にアンケートを行い、情報の提供と公開を働きかけることが提案された。
- ・今後これらの活動をWGで行うことが提案され、WGのメンバーは委員長が原案を作成し提示することです承された。

6. 委員会の再構成について

- ・末武委員長より資料1-3に沿って、教育企画・人材育成委員会の議事について活動内容による分類と活動方法による分類について報告され、今後、意見の集約を行うことし次の意見が示された。
 - ① 活動内容による分類においてキッズプロジェクトと中高生キャリア教育を統合するには対象範囲がひろすぎる。
 - ② 生涯学習の観点から土木と学校教育を社会科中心の活動、キッズプロジェクトを理科中心の活動と位置づけ統合が可能。
 - ③ 中高生キャリア教育とは問題のとらえ方を整理したうえで統合すべき

7. その他

- ・木村委員より8/6に開催された「第2回土木と学校教育フォーラム」において「小学校6年理科における自然災害に関する出前授業の実践例」と題した模擬授業について報告があった。
- ・木村委員より夏休みの理科の自由研究について土木分野として公募を行うこと、依田委員からは「土木キッズ憲章」の設立について提案があり、今後教材開発のWGで検討することになった。
- ・JSCE2010の実施状況に関する部門ごとの自己評価について末武委員長より資料1-5のd3-4項目の報告がされた。
- ・学会活動の4つの視点からの評価・PR等様式について末武委員長より資料1-6に沿って報告がされた。

以 上